

東京学芸大学入学料免除及び徴収猶予取扱規程の一部改正について（案）

| 現 行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 改 正 （案）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第1章 総則<br/>（趣旨）</p> <p>第1条 東京学芸大学学則に規定する入学料の免除（以下「免除」という。）及び徴収猶予の取扱いについては、他に特別の定めのあるもののほか、この規程の定めるところによる。</p> <p>第2章 免除<br/>（大学院研究科等の免除対象者）</p> <p>第2条 本学の大学院研究科又は特殊教育特別専攻科（以下「大学院研究科等」という。）に入学する者（科目等履修生又は研究生として入学する者を除く。以下同じ。）で、免除の対象となる者は、経済的理由によつて入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合とする。</p> <p>2 前項に規定するもののほか、次の各号の1に該当し、かつ、入学料の納付が困難であると認められる場合は、免除の対象とすることができる。</p> <p>(1) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡したとき。</p> <p>(2) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受けたとき。</p> <p>(3) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。<br/>（学部の免除対象者）</p> <p>第3条 本学の学部に入学者（科目等履修生又は研究生として入学する者を除く。以下同じ。）で、入学料の納付が困難な者として免除の対象となる者は、次の各号の1に該当する場合とする。</p> <p>(1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡したとき。</p> <p>(2) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受けたとき。</p> <p>(3) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。<br/>（受験機会の複数化による対象者）</p> <p>第4条 国立大学の受験機会の複数化により免除の対象となる者は、次の各号の1に該当する場合とする。</p> <p>(1) 本学を含む二つの国立大学の学部（筑波大学にあつては学群。以下この条において同じ。）に合格した者で、本学以外の国立大学に入学（編入学、転入学及び科目等履修生、聴講生、研究生等としての入学を除く。以下この条において同じ。）手続を行い、入学料を納付した後、その入学を辞退し、本学に入学手続を行うとき。</p> <p>(2) 本学を含む二つの国立大学の学部合格した者で、次条における免除の申請を経て、本学に対する入学手続を行った後に、本学の入学を辞退し、他の国立大学に対する入学手続を行うとき。</p> <p>（申請）</p> | <p>第1章 総則<br/>（趣旨）</p> <p>第1条 国立大学法人東京学芸大学学則に規定する入学料の免除（以下「免除」という。）及び徴収猶予の取扱いについては、他に特別の定めのあるもののほか、この規程の定めるところによる。</p> <p>第2章 免除<br/>（大学院研究科等の免除対象者）</p> <p>第2条 本学の大学院教育学研究科、大学院連合学校教育学研究科又は特殊教育特別専攻科（以下「大学院研究科等」という。）に入学する者（科目等履修生又は研究生として入学する者を除く。以下同じ。）で、免除の対象となる者は、経済的理由によつて入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合とする。</p> <p>2 前項に規定するもののほか、次の各号の1に該当し、かつ、入学料の納付が困難であると認められる場合は、免除の対象とすることができる。</p> <p>(1) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡したとき。</p> <p>(2) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受けたとき。</p> <p>(3) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。<br/>（学部の免除対象者）</p> <p>第3条 本学の学部に入学者（科目等履修生又は研究生として入学する者を除く。以下同じ。）で、入学料の納付が困難な者として免除の対象となる者は、次の各号の1に該当する場合とする。</p> <p>(1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡したとき。</p> <p>(2) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受けたとき。</p> <p>(3) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。</p> <p>（申請）</p> |

第5条 第2条及び第3条の規定による免除を受けようとする者は、入学料免除願（様式第1 - 1号）並びに家族状況及び家計状況を記入した所定の様式（以下「家庭調書」という。）に、次の各号に掲げる書類を添付して、入学手続期間内に学長に申請しなければならない。

- (1) 所得証明書（様式第2号又は市区町村所定の様式）
- (2) 学資負担者が死亡したことの証明書（第2条第2項第1号及び第3条第1号による場合に限る。）
- (3) 本学に入学する者又は学資負担者が災害を受けたことの市区町村長の証明書（第2条第2項第2号及び第3条第2号による場合に限る。）
- (4) その他必要な書類

第6条 第4条第1号の規定による免除を受けようとする者は、受験機会の複数化による入学料免除申請書（様式第3号）に、次の各号に掲げる書類を添付して、入学手続期間内に学長に申請しなければならない。

- (1) 入学辞退を証明する書類
- (2) 入学料領収証書
- (3) 大学入試センター試験受験票

2 第4条第2号の規定による免除を受けようとする者は、受験機会の複数化による入学料免除申請書（様式第4号）に、他の国立大学に入学を許可されたことを証明する書類を添付して、所定の期日までに学長に申請しなければならない。

（許可）

第7条 第2条及び第3条の規定による免除については、大学院教育学研究科及び特殊教育特別専攻科にあつては大学院教育学研究科委員会、大学院連合学校教育学研究科にあつては大学院連合学校教育学研究科委員会、学部にあつては学生委員会の選考を経て、学長が許可する。学部に係る免除については、あらかじめ文部科学省の承認を得るものとする。

第8条 第4条の規定による免除については、申請に基づき学長が許可する。

（免除の額）

第9条 第2条及び第3条の規定による免除の額は、入学料の全額又は半額とする。

第10条 第4条に規定する免除の額は、入学料の全額とする。ただし、当該入学料の額が既に納付した入学料の額を上回る場合は、既に納付した入学料に相当する額とする。

### 第3章 徴収猶予

（徴収猶予の対象者）

第11条 大学院研究科等又は学部に入学者で、徴収猶予の対象となる者は、次の各号の1に該当する場合とする。

- (1) 経済的理由によつて納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡したとき。
- (3) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (4) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。

第4条 第2条及び第3条の規定による免除を受けようとする者は、入学料免除願（様式第1 - 1号）並びに家族状況及び家計状況を記入した所定の様式（以下「家庭調書」という。）に、次の各号に掲げる書類を添付して、入学手続期間内に学長に申請しなければならない。

- (1) 所得証明書（様式第2号又は市区町村所定の様式）
- (2) 学資負担者が死亡したことの証明書（第2条第2項第1号及び第3条第1号による場合に限る。）
- (3) 本学に入学する者又は学資負担者が災害を受けたことの市区町村長の証明書（第2条第2項第2号及び第3条第2号による場合に限る。）
- (4) その他必要な書類

（許可）

第5条 第2条及び第3条に規定による免除については、大学院連合学校教育学研究科にあつては大学院連合学校教育学研究科委員会、大学院教育学研究科、特殊教育特別専攻科及び学部にあつては学生委員会の選考を経て、学長が許可する。

（免除の額）

第6条 第2条及び第3条の規定による免除の額は、入学料の全額又は半額とする。

### 第3章 徴収猶予

（徴収猶予の対象者）

第7条 大学院研究科等又は学部に入学者で、徴収猶予の対象となる者は、次の各号の1に該当する場合とする。

- (1) 経済的理由によつて納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡したとき。
- (3) 入学前1年以内において、本学に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (4) 前2号に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由があるとき。

(申請)

第12条 前条の規定による徴収猶予を受けようとする者は、入学料徴収猶予願(様式第1-2号)及び家庭調書に、次の各号に掲げる書類を添付して、入学手続期間内に学長に申請しなければならない。

- (1) 所得証明書(様式第2号又は市区町村所定の様式)
- (2) 学資負担者が死亡したことの証明書(前条第2号による場合に限る。)
- (3) 本学に入学する者又は学資負担者が災害を受けたことの市区町村長の証明書(前条第3号による場合に限る。)
- (4) その他必要な書類

2 免除を不許可とされた者及び半額免除を許可された者は、告知された日から起算して14日以内に徴収猶予を申請することができる。この場合においては、家庭調書及び前項各号に規定する書類の再提出を要しない。

(許可)

第13条 徴収猶予の許可は、第7条の規定(ただし書を除く。)を準用する。この場合において、「第2条及び第3条の規定による免除」とあるのは「第11条の規定による徴収猶予」と読み替えるものとする。

(免除申請等に係る徴収の猶予)

第14条 免除を許可し若しくは不許可とするまでの間又は徴収猶予を許可し若しくは不許可とするまでの間は、免除又は徴収猶予を申請した者に係る入学料の徴収を猶予する。

#### 第4章 その他

(納付期限)

第15条 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者及び徴収猶予を不許可とされた者については、免除の不許可、半額免除の許可又は徴収猶予の不許可を告知された日から起算して14日以内に納付すべき入学料を納付しなければならない。

2 徴収猶予を許可された者は、当該入学に係る年度を超えない範囲であらかじめ指定された期間内に納付すべき入学料を納付しなければならない。

(徴収猶予の許可の取消し)

第16条 徴収猶予を許可された者が、前条第2項に規定する期間内に入学料を納付しない場合は、徴収猶予の許可を取消し、不許可として扱うものとする。

(死亡等による免除)

第17条 免除又は徴収猶予を申請した者が、第14条の規定により徴収を猶予されている期間内において死亡した場合は、未納の入学料の全額を免除する。

2 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者又は徴収猶予を不許可とされた者が、第15条に規定する期間内において死亡した場合は、未納の入学料の全額を免除する。

3 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者又は徴収猶予を不許可とされた者が、納付すべき入学料を納付しないことにより学籍を有しないこととなる場合は、その者に係る入学料の全額を免除する。

(申請)

第8条 前条の規定による徴収猶予を受けようとする者は、入学料徴収猶予願(様式第1-2号)及び家庭調書に、次の各号に掲げる書類を添付して、入学手続期間内に学長に申請しなければならない。

- (1) 所得証明書(様式第2号又は市区町村所定の様式)
- (2) 学資負担者が死亡したことの証明書(前条第2号による場合に限る。)
- (3) 本学に入学する者又は学資負担者が災害を受けたことの市区町村長の証明書(前条第3号による場合に限る。)
- (4) その他必要な書類

2 免除を不許可とされた者及び半額免除を許可された者は、告知された日から起算して14日以内に徴収猶予を申請することができる。この場合においては、家庭調書及び前項各号に規定する書類の再提出を要しない。

(許可)

第9条 徴収猶予の許可は、第5条の規定を準用する。この場合において、「第2条及び第3条の規定による免除」とあるのは「第7条の規定による徴収猶予」と読み替えるものとする。

(免除申請等に係る徴収の猶予)

第10条 免除を許可し若しくは不許可とするまでの間又は徴収猶予を許可し若しくは不許可とするまでの間は、免除又は徴収猶予を申請した者に係る入学料の徴収を猶予する。

#### 第4章 その他

(納付期限)

第11条 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者及び徴収猶予を不許可とされた者については、免除の不許可、半額免除の許可又は徴収猶予の不許可を告知された日から起算して14日以内に納付すべき入学料を納付しなければならない。

2 徴収猶予を許可された者は、当該入学に係る年度を超えない範囲であらかじめ指定された期間内に納付すべき入学料を納付しなければならない。

(徴収猶予の許可の取消し)

第12条 徴収猶予を許可された者が、前条第2項に規定する期間内に入学料を納付しない場合は、徴収猶予の許可を取消し、不許可として扱うものとする。

(死亡等による免除)

第13条 免除又は徴収猶予を申請した者が、第10条の規定により徴収を猶予されている期間内において死亡した場合は、未納の入学料の全額を免除する。

2 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者又は徴収猶予を不許可とされた者が、第11条に規定する期間内において死亡した場合は、未納の入学料の全額を免除する。

3 免除を不許可とされた者、半額免除を許可された者又は徴収猶予を不許可とされた者が、納付すべき入学料を納付しないことにより学籍を有しないこととなる場合は、その者に係る入学料の全額を免除する。

#### 附 則

|                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div data-bbox="154 244 450 284" data-label="Text"><p>様式第3号     〔省略〕</p></div> <div data-bbox="154 309 450 349" data-label="Text"><p>様式第4号     〔省略〕</p></div> | <div data-bbox="1189 153 1709 188" data-label="Text"><p><u>この規程は、平成16年4月1日から施行する。</u></p></div> <div data-bbox="1247 244 1330 284" data-label="Text"><p>〔削除〕</p></div> <div data-bbox="1247 309 1330 349" data-label="Text"><p>〔削除〕</p></div> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|